

令和7年度 第2回 萩荘中学校区学校運営支援協議会

日時 令和7年11月27日(木)

12:00~14:15

会場 一関市立萩荘小学校 校長室



本日の日程	12:00~12:30	給食試食会
	12:30~13:15	学校運営支援協議会
	13:20~14:05	授業参観
	14:15	解散

【次第】

進行：事務局 金野

- 1 開会の言葉
- 2 あいさつ
 - ・学校運営支援協議会 会長 小野寺 聖悦
 - ・萩荘中学校 校長 村上 正和
 - ・萩荘小学校 校長 熊谷 浩二
- 3 協議
 - (1) 萩荘小中学校の近況報告 【各校長】
 - ・児童、生徒の様子
 - ・学校経営についての経過報告(成果や課題等)
 - (2) 市民センターの近況報告 【センター所長】
 - (3) 現在までの学習ボランティアの取組について
【地域コーディネーター 両角さん】
 - (4) 地域での子ども達の様子について【委員の皆様】
 - (5) その他
 - ・今後の活動について(他校の実践例等の紹介)【事務局】
- 4 その他
- 5 閉会の言葉

学校運営支援協議会 参加者

	役職	所属	役職	氏名 (敬称略)	参加
1	会長	萩荘市民センター	所長	小野寺 聖悦	○
2	副会長	萩荘地区 まちづくり協議会	顧問	中野 信雄	○
3	副会長	萩荘地区区長会	会長	佐藤 洋一	○
4	委員	岩手県立 一関工業高等学校	校長	宇夫方 聡	
5	委員	萩荘地区 民生児童委員協議会	主任児童委員	岩渕 四郎	○
6	委員	萩荘地区 民生児童委員協議会	主任児童委員	千葉 智恵	○
7	委員	はぎっ子サポート チーム	代表	平野 勝	○
8	委員	萩荘中学校 P T A	会長	阿部 勇太	○
9	委員	萩荘小学校 P T A	会長	佐々木 弘克	○
10	委員	地域学校協働本部	地域コーディネーター	両角 みかこ	○
11	委員	萩荘中学校	校長	村上 正和	○ (協議から)
12	委員	萩荘小学校	校長	熊谷 浩二	○
13	事務局	萩荘中学校	副校長	大友 一篤	○ (協議から)
14	事務局	萩荘小学校	副校長	金野 幹子	○

一関市立萩荘小学校

令和7年11月27日（木）授業参観・家庭教育学級

日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度、2回目の授業参観を下記の予定で実施いたしますので、どうぞ子どもたちが学習する姿を見ていただきたいと思います。

また、授業参観の後に「家庭教育学級」を行います。お家の方々のご参加をお願いします。
尚、今回は、学年・学級懇談会は行いません。

【授業参観】全学年「道徳」

5校時 13:20～14:05

クラス	担任	「教材名」（主題名）	場所
1年1組	佐藤 香代	「おふろそうじ」（がんばるころ）	1年1組教室
2年1組	千葉 愛	「きつねとぶどう」（ありがとう）	2年1組教室
2年2組	狩原 恵美	「きつねとぶどう」（ありがとう）	2年2組教室
3年1組	稲田 翔美	「助かった命」（かけがえのない命）	3年1組教室
3年2組	金里 徹	「助かった命」（かけがえのない命）	3年2組教室
萩っ子1組	中村 昌子	交流学級での学習	交流学級教室
萩っ子2組	三田 三矢子	「つくればいいでしょ」（長所をのぼす）	萩っ子2組教室
萩っ子3組	刈谷 晶子	「あいさつのあるいちにち」（たいせつなあいさつ）	萩っ子3組教室
萩っ子4組	小野寺 徳光	交流学級での学習	交流学級教室
4年1組	佐藤 洋子	「三つのつつみ」（思いやる心）	4年1組教室
4年2組	菅原 花菜子	「三つのつつみ」（思いやる心）	4年2組教室
5年1組	村井 利家	「うばわれた自由」（自由と責任）	5年1組教室
5年2組	佐藤 奏恵	「家族のために」（家族の一員として）	5年2組教室
6年1組	飯倉 優	「心づかいと思いやり」（深い思いやり）	6年1組教室
6年2組	千葉 紗奈	「手品師」（誠実な心）	6年2組教室

【家庭教育学級】14:20～15:40 体育館

演題 「子供の姿勢とケガの予防について」

講師 岩手県姿勢調整師会

佐藤 隆夫 氏



11月27日（木）は、

1・2年生 5時間授業（下校14:40、スクールバス14:40）

3～6年生 6時間授業（下校15:40、スクールバス15:40）です。

【学校支援ボランティア活動について】



令和6年5月から萩荘地区でも始まりました“学校支援活動”ですが、募集案内を各班の回覧でお願いしたり、萩荘市民センターだよりに掲載したりしたおかげで、たくさんの皆様にご理解とご協力をいただきまして活動することができております。令和7年度も、萩荘小学校での新1年生の給食サポートボランティアを始めとして、学校行事や授業・校外学習サポート、早朝環境整備、伝統芸能関連の行事等、たくさんの学校支援ボランティア活動に保護者の方や地域の皆様にご参加いただきました。これからも、学校や子供達のために地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

萩荘小学校

☆令和7年度 4月～11月までの学校支援活動の一例です☆

1年生の給食サポート（配膳・後片付け等）



交通安全教室のサポート



各授業のサポート

1年生 生活科「あさがおの種まき」



6年生 家庭科 調理実習「炒めるおかず」



1年生 書写授業



その他にも・・・

萩荘小学校では、5年生宿泊学習サポート、早朝環境整備、運動会や学習発表会等の記録用写真撮影、図書ボランティア活動。また、萩荘中学校では、昔話語りや早朝環境整備、鶴舞着付け教室等の伝統芸能行事でのボランティア活動をしていただいております。

社会科見学や校外学習のサポート



1年生 生活科校外学習（秋さがし）

3年生 社会科見学（市内巡り）



（一関西消防署）

3年生 社会科見学（工場）



4年生 社会科見学（照井堰）



令和7年度 学校経営の基本計画

1 一関市学校教育基本方針

- (1) 社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を育成する。
- (2) たくましく心豊かに生きる幼児・児童を育成する。
- (3) 児童の実態に即し、地域の環境や特性を生かした特色ある教育を創造する。

2 学校経営の基本方針

公教育の方針にのっとり、全人教育を前提として、特に「豊かな人間性」の育成と「確かな学力」の育成を中心に捉えた学校経営を意図するものである。

そのために、本校児童の実態をふまえ、児童・保護者・地域の願いに立脚した教育活動を進め、地域に開かれた学校経営を目指す。

3 学校教育目標 (◎は令和7年度重点目標)

- 相手を思いやり助け合う子 (やさしい子)
 - ◎自己との違いを認め、他者を尊重する子ども
 - ・弱者をいたわり、あったか言葉を使う子ども
 - ・自他の生命を大切にする子ども
- 自ら学び自ら考える子 (かんがえる子)
 - ◎自分の考えを持ち、意欲的に学習に取り組む子ども
 - ・目標を持ち、工夫しながら学習する子ども
 - ・互いの良さを認め、友達の考えを大切にする子ども
- 健康でたくましい子 (たくましい子)
 - ・正しい判断をし、行動する子ども
 - ・がまん強く、最後までやりぬく子ども
 - ◎進んで体を動かし、鍛える子ども

4 めざす学校像

- 大きな夢がわいてくる学校 (一人一人の可能性を広げ、伸ばす学校)
 - ・児童や教職員がゆとりを持ち、落ち着いて活動する学校
 - ・児童が安心して安全に過ごせる学校
 - ・児童や教職員、保護者、地域が声を掛け合い、サポートし合える学校

5 めざす教師像 (◎は令和7年度重点目標)

- ◎ 児童理解に努め、一人ひとりの個性の伸長を図る教師
- ◎ 自己の研鑽・修養に努め、授業を大切にする教師
- 他の教職員と協力し、教育目標の具現に向けて力を発揮する教師
- 自己の職責を自覚し、保護者や地域から信頼される教師
- 今日的課題を把握し、創意工夫し実践する教師

6 本年度学校経営の方針

一人ひとりの子どもの個性や可能性を伸ばす学校づくり

～「大きな夢がわいてくる学校」～

○「子どもが主人公の学校づくり」

→ 子どもをど真ん中に据え、豊かな人間性をはぐくみ、

個性を伸長する「道德教育の推進」

○「子どもの心に響く、魅力ある道德の授業づくり」

→ 子どもの実態を見据えたプラン作りと教師自身のやりがいのある道德の授業作り

7 本年度学校経営の重点

(1) 豊かな心を育む【やさしい心アップ】

① 道德教育の充実

- 
- ・学校教育全体で行われる道德教育⇒豊かな人間性の育成、個性の伸長
 - ・「生きる力」の核となる豊かな人間性⇒感動する心、柔らかな感性、正義感、生命や人権の尊重、思いやりの心、社会貢献の精神、自立心、自己抑制力、責任感、他者との共生等
 - ・子どもの道德性を育てる⇒道德的心情、道德的判断力、道德的实践意欲・態度、道德的習慣
 - ・道德教育の要としての「道德の時間」⇒補充・深化・統合→主体的な道德的实践力

道德教育の充実により

【子どもや学級が変わる】

- ・自分自身について深く見つめるようになる
- ・自分の良いところをさらに伸ばそうとするようになる
- ・自分らしい生き方について深く考えるようになる
- ・美しいもの、生命あるものを大切にするようになる
- ・豊かな人間関係を自分から築こうとするようになる
- ・進んで道德的实践を行うようになる等

【先生方が変わる】

- ・子どもの成長を見守るゆとりが出てくる
- ・子どもの心を受け止める道德の授業の展開が出来るようになる
- ・子どもを多面的に理解できるようになる等

【学校が変わる】

- ・子どもにとってより温かく、心地よい居場所となる
- ・子どもの心の問題について、教職員間に共通の関心が生まれてくる等

② 学級・学年・学校集団づくりの推進（・リーダーの育成・縦割り班活動の充実・児童会を中心とする自治活動の推進等）

③ 児童理解と生徒指導の充実

→ いじめの根絶と学校不適應への対応（・支援会議と個別支援の充実・教育相談や毎週、

毎学期のアンケートの確実な実施・日頃からの観察と子どもとの人間関係作り、組織的な対応、他機関との連携等

- ④人材育成→復興教育・キャリア教育（・鶏舞など人や地域との関わりを通して郷土愛や復興、発展を支える人材育成等）

（２）確かな学力を育む【学力アップ】

- ① 楽しい授業の創造→授業改善（・授業での「導入」の工夫と「ふり返り」時間の確保、
・習熟の場面における子ども主体の授業づくり、交換授業等を目指す）
- ② 諸調査の結果分析と補充（IT 及び個別指導・UD（ユニバーサルデザイン）の視点・ICT 活用等）
- ③ 基礎基本の定着（読み、書き、計算の徹底「ことばの時間」・家庭学習と授業の連動、タブレットの持ち帰りによる家庭学習での活用等）
- ④ 体験学習の充実（・総合的な学習の時間の工夫・社会科見学のさらなる充実・地域を生かした体験学習等）
- ⑤ 読書活動の充実（・学校、家庭での読書習慣の確立・図書館教育・読み聞かせの充実等）

（３）健康な心と体の育成【健康力アップ】

- ① 基本的な生活習慣の確立（・あいさつ・早寝、早起き、朝ご飯・歩きの登下校の奨励等）
- ② 健康・安全教育（・交通安全や生活安全指導の徹底・歯磨き指導・SC の活用等）
- ③ 運動好きな児童の育成（・チャレンジランニング・チャレンジロープ・体育授業の工夫・集団遊び（縦割り班活動含む）の奨励等）
- ④ 食育指導の充実（・給食指導の充実・食に関する学習の実施等）

（４）信頼される学校づくり【地域力アップ】

- ① 保護者・地域との連携強化（・積極的な情報発信（学校ブログや学級・学年だより等）
・PTA や地域の活動への積極的な参加（環境整備作業、廃品回収、地域のイベント等への積極的な参加）
・市民センターとの連携等）
- ② 学校評価の活用（・「まなびフェスト」を活用した学校評価の取組（目標達成型の学校経営の推進等）
- ③ 「一関市学校運営支援協議会」の推進（地域コーディネーターによる学校支援ボランティアの積極的な働きかけと連携・活用）

R7. 1学期末		保護者	児童 (1～3年)	児童 (4～6年)
★肯定的評価(あてはまる+どちらかというとあてはまる)% ※下段()内の数字は、昨年度の1学期末の%				
やさしい心アップ	学校生活が楽しい(目標値95%)	91 (90) ↑	94 (94)	92 (88) ↑
	進んであいさつをしている	83 (85)	93 (88) ↑	88 (88)
	あったか言葉を使い友達に声がけ	91 (89) ↑	94 (92) ↑	91 (88) ↑
学力アップ	授業や学習がよくわかる (目標値90%)	81 (77) ↑	91 (88) ↑	94 (84) ↑
	落ち着いてじっくり家庭学習	70 (61) ↑	90 (88) ↑	93 (84) ↑
	時間を見つけて読書	46 (44) ↑	88 (85) ↑	62 (63)
健康力アップ	就寝と起床時間を守る	80 (86)	80 (83)	81 (79) ↑
	時間を守って食事(特に朝食)	100 (97) ↑	92 (98)	96 (98)
	徒歩通学、運動や外遊び	84 (86)	90 (94)	85 (78) ↑
	TVやゲームの約束を守る (目標値75%)	64 (67)	82 (83)	80 (86)
【保護者のコメント】 ・連絡帳への返答について ・授業の進め方について ・登下校の対応について(クマやイノシシ等出没の際) ・児童への対応について ・言葉遣いについて ・親子レクについて ・徒歩による登下校について ・教職員の対応について ・熱中症に関する対応について ・指導に関する感謝				
★お忙しい中、アンケートへの回答、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。				

案

部活動に係る廃部規程

— 関市立萩荘中学校

はじめに

今後の生徒数の推移を見ると、今後 10 年で約半数に減少することが分かる。このままであれば、学級減に伴う教員数減により顧問配置ができなくなるという状況が令和 13 年から確実に始まる見込みとなっている。このことから、現在の 10 の部を全て存続させることは不可能になるため、今のうちから部活動に係る廃部規程について議論を重ねながら作成していく。

なお、こうした状況にあることは、在校生徒および保護者をはじめ、小学校の児童および保護者、学校運営支援協議会等の学校関係者に説明を行い、ご理解をいただきながら対応していく。

萩荘中学校生徒数推移 (R7. 5. 1 現在) 学年1学級 () は特別支援学級生徒含む

年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
生徒数	176	172	171	164	147	136	127	119	116	102	89	75	83
1 学年 上(通常) 下(特支)	53 1	57 4	54 2	42 5	43 1	41 4	35 3	(36)	(42)	(24)	(23)	(28)	(32)
2 学年 上(通常) 下(特支)	51 5	53 1	57 4	54 2	42 5	43 1	41 4	35 3	(36)	(42)	(24)	(23)	(28)
3 学年 上(通常) 下(特支)	66 0	52 5	53 1	57 4	54 2	42 5	43 1	41 4	35 3	(36)	(42)	(24)	(23)

部の数の上限

通常学級の数	教諭等の数 (副校長含む)	部の数の上限
6	11～13	10
5	9～11	8
4	8～10	7
3	7～9	6

第1条 部存続の要件

- (1) 活動に支障のない部員数および顧問ができる教員数により、部の数の上限内での存続とする。
- (2) 特設部の設置の可否は、教員数により毎年度の判断とする。

第2条 廃部決定までの流れ

- (1) 新人大会と中総体の 2 大会連続で部員数が団体出場に必要な人数に達しない場合、廃部の対象候補 (場合によっては、廃部とする) とする。
- (2) 廃部の対象候補になった後、さらに新人大会と中総体の 2 大会連続で部員数が団体出場に必要な人数に達しない場合、中総体後に廃部とする。
- (3) 廃部となれば、次年度の募集はしない。入部希望をしていた 1 年生には、他の部を選択するよう勧める。1・2 年生は中総体後に転部する。
- (4) 廃部とする部の数は、部の数の上限をめどとする。対象候補の部が複数の場合は、部員数と団体出場に必要な人数の割合が低い部を廃部とする。
- (5) (1)の廃部の対象候補がない場合であっても、教諭等の数により廃部が必要な場合は、部員数と団体出場に必要な人数の割合が低い部を廃部とする。

第3条 付則 この規程は、令和 年 4 月 1 日より施行する。